

2019年1月31日
東京ガス株式会社

2019年3月期第3四半期決算説明会
主なQ&A

Q1：最近の電力・ガスの競争状況について、どのような認識を持っているか。

A1：電力については、夏・秋・冬とキャンペーンを実施している効果もあり、小売件数を順調に伸ばしている。
ガスについては、首都圏に多くの新規事業者が参入し、競争環境が厳しくなっていると認識しているが、当期の見通しにおいては想定内で推移している。今後も新たな新規事業者の参入が発表されており、競争はさらに激しくなるものと考えている。

Q2：海外事業において、第3四半期のセグメント利益が対前年+72億円の134億円と大きくなっているにもかかわらず、年度見通しでは対前年+76億円の153億円における利益の増加幅が小さいのはなぜか。

A2：海外事業の利益の大半を占めるオーストラリアの上流事業における販売数量が、第3四半期までの期間に偏っていたことによるものである。

以上